（別紙4（2））

事業所名：グループホームつどい

作成日：　令和2年11月　2　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行わないケアを実践する為の研修や会議を定期的に実施しているが、委員会の議事録を適切に整備し、振り返りや評価に活用することが、十分になされていない。	身体拘束についての、研修、会議の記録を適切にまとめた書面の整備を行い、業務に積極的に活用する。	職員が日々の業務の中での得手、不得手の中から、研修、会議、記録、書類作成等の苦手意識をなくし、積極的に書面づくりを行い、業務に活用していく。	6ヶ月
2	26	介護計画書の内容に、利用者に必要な援助や見直しを行っているが、利用者、家族の要望、変化を具体的に盛り込んだケア方法の記載が不十分。	介護計画書の内容に具体性をもたせて、職員が共通した目的意識をもって業務に取り組んでいく。	利用者の変化を、より一層観察し、記録し、ご本人の要望にむけたケアを実践していく。そのための具体的な計画を日々職員で深く共有し、追加、変更させていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。